

第 3 回 非線形 FEM 委員会・WG2 議事メモ

日 時：平成 18 年 12 月 12 日（火）16：00～17：00（第 3 回全体委員会終了後）

場 所：JCI 事務局 第 2 会議室

出席者：上林，田嶋，三木，米澤，斉藤の各委員

資 料：

3-5 第 2 回非線形 FEM 委員会・WG2 議事次第

3-6 せん断破壊に関する解析の現状について・修正版（斉藤）

議 事：

1. WG2 の今後の作業について

- ・ 全体委員会を踏まえて，WG2 の今後の作業について議論を行った。

(1) 非線形 FEM の有効利用に関するシナリオについて

- ・ 現在，アンケート結果等に基づき WG3 が有効利用に関するシナリオを検討中である。
- ・ WG2 では，いずれ WG3 が作成するシナリオに基づき解析を行うことになる。

(2) せん断破壊に関する解析について

- ・ 前回の WG において，せん断破壊に関する解析の現状について整理を行った。
- ・ ポイントは以下の通りである。

(a) 破壊（損傷）を定義するための指標を検討する必要がある。また，解析結果の評価方法について検討する必要がある（特に 3 次元の場合）。

(b) 構成則やモデル化において留意すべき点を整理する必要がある（考慮する破壊によって留意点異なる場合もある）。

(c) トライ&エラーのプロセスや結果の妥当性を判断する方法について検討する必要がある。

- ・ 上記のポイントを整理して，「せん断破壊を考慮する解析」を行う上で留意すべき点をまとめたフロー図を作成してみることにした。（これは，ガイドラインに基づいて，実際に解析を行う際に参考にしてもらえらるようなものをイメージ。）
- ・ まず，斉藤がフロー図のたたき台を作成し，WG2 の各委員がそれぞれの経験に基づいた留意点を列挙し，フロー図を完成させる。
- ・ 次回全体委員会にフロー図を提示する。

2. その他

- ・ 次回全体委員会の前で，フロー図の大体の形ができあがったところに，必要があれば WG を開催する。

以上